

交通安全協会

県内の交通事故(令和3年11月30日現在)暫定			
区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	2,849	35	3,510
昨年	2,845	42	3,601
増減	+4	-7	-91

交通安全協会だより 第581号

令和4年1月 (一財)熊本県交通安全協会
 発行所 熊本県交通安全活動推進センター
 電話(096)-233-2110
 ホームページアドレス <http://www.kumamoto-ankyo.com/>



回
覧

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 県民の皆様には、平穏で健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 また、平素から、当協会の活動に深い御理解と格別の御協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。
 昨年は、一昨年同様、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、様々な活動や行動が制約を受けました。先ずもって、この感染症の脅威から一刻も早く脱却することを願って止みません。
 他方、県下の交通事故情勢に目を向けますと、ここ数年は発生件数、死傷者数ともに減少傾向にあり、死者数は、一昨年に続き、統計記録史上最も少ない水準を維持しております。
 また、JAFの発表によりますと、本県の場合、信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率は、前年比で15.1ポイントアップするなど、着実に、県民の皆様の交通安全意識やマナーは向上していると感じております。
 当協会としましても、昨年、県警や他の関係団体の皆様と一緒に「歩行者保護宣伝カー」の運用を行うなど、県が推奨する「横断歩道止まって渡す思いやりキャンペーン」に取り組んだところであります。
 ただ一方で、児童が犠牲となった千葉県八街市の死傷事故など、飲酒運転等の悪質・危険な運転による犠牲者が後を絶たず、県内でも、お子さんが犠牲となる痛ましい事故や活動中の交通ボランティアの方が巻き込まれる残念な事故が発生するなど、決して油断できない情勢であると認識しております。
 交通事故の根絶は県民全ての願いであり、そのためには、個々人が高い安全意識と思いやりの心を持ち、交通ルールを遵守し、正しい交通マナーを身に付けることが重要で、その結果、地域全体の交通安全意識を向上させることが何より大切です。
 当協会としましても、先ずは、「第11次熊本県交通安全計画」に示された「24時間交通事故死者数40人以下・重傷者数370人以下」を目指し、そして、いつの日か交通事故死者数がゼロになりますことを切に願って、民間による県下の交通安全活動の中核として、様々な活動をより活発、活性化させて参りたいと考えておりますので、県民の皆様には、引き続き、当協会の活動に一層の御支援と御協力を賜りますよう切にお願いいたします。
 結びに、本年が皆様にとりまして良き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

- | | | | |
|------------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|
| 熊本中央地区交通安全協会
片桐 英彰 | 山鹿地区交通安全協会
牛島 健二 | 御船地区交通安全協会
池田 健吾 | 人吉地区交通安全協会
内谷 孝一 |
| 熊本南地区交通安全協会
角谷 安宣 | 菊池地区交通安全協会
緒方 宣治 | 山部地区交通安全協会
梅田 勇二 | 多良木地区交通安全協会
瀬崎 哲弘 |
| 熊本東地区交通安全協会
早川 典宏 | 大津地区交通安全協会
山本 敦史 | 宇城地区交通安全協会
須々美 哲 | 天草地区交通安全協会
緒方 孟繁 |
| 熊本北合志地区交通安全協会
田尻 一男 | 小国地区交通安全協会
渡邊 誠次 | 八代地区交通安全協会
三浦 賢治 | 上天草地区交通安全協会
中 直通 |
| 玉名地区交通安全協会
作本 幸男 | 阿蘇地区交通安全協会
岩下 哲三 | 芦北地区交通安全協会
松下 義一 | 牛深地区交通安全協会
中村 富人 |
| 荒尾地区交通安全協会
山口 賢一 | 阿蘇南部地区交通安全協会
大塚 弘倫 | 水俣地区交通安全協会
坂田 信介 | |



～手を上げる子どもはあなたを信じてる～